



聖なる鳥の島 天売島海鳥撮影会

とき：6月6～8日(土・日・月) 定員：先着12名

参加費：①札幌発着 68,000円 札幌発 10:00、羽幌発 12:30 の高速乗合バス「特急はぼる号」利用

②羽幌発着 59,800円 羽幌フェリーターミナル集合 13:30、解散 12:15(無料駐車場完備)

申込先：沿岸バス株式会社 沿岸バスツアーデスク TEL：0164(62)2051(月～土 9:00～17:00)

北海道知事登録旅行業第 2-283 号

このイベントの特徴

どなたでも参加できます。ボートからの感動的な海鳥撮影に手ぶらで参加できます。

CANON EOS7D MarkII、EF70-300mm、EF100-400mm II を使って撮影できます。

CANON PowerShot SX60HS を使って手軽な野鳥撮影が楽しめます。

ツアーなので安心してプログラムに参加でき、天候など条件に応じて最適な動きが取れます。

試用機材ご利用に当たっての注意! メモリーカードは各自持参して下さい(高速カードが望ましいです)。7DはCFカードとSDカードのWSロットで、SX60はSDカードです。カメラバッグの用意はありませんので、ご自身の機材を含めたサイズのものを各自ご準備下さい。

講師：寺沢孝毅氏 (てらさわ たかき)

島に渡って33年間の海鳥との付き合いで、互いの信頼関係を築いた。自船「ケイマフリ号」を自在に操り撮影する。作品集「寒流が結ぶ生命」(文一総合出版)など多数。「北極いのちの物語」(偕成社)など刊行予定。



海鳥撮影の魅力

もっとも海が安定する6月は、海からの撮影に絶好の時期。断崖や空の色を映す海に、真っ赤な足のケイマフリや絶滅危惧種のウミガラスなどが浮かびます。海岸に群れるウミネコや、岩棚で子育てするウミウなども見られるでしょう。小型ボートは、海鳥の自然な表情を切り取るための最良の手段です。また、崖沿いの展望台からもケイマフリやウミウの撮影ができます。島じゅうにいるノゴマも絶好の被写体です。望遠ズームレンズを使って動きのある写真に挑戦したり、広角や標準レンズで風景を意識した構図にするのもいいでしょう。

各日のプログラム(予定) 天候等により最適なプログラムに組みかえます

1日目 15:35 天売島着 オリエンテーション(海の宇宙館)
19:00 ウトウ撮影

2日目 6:00～11:30 ボート撮影&陸からの海鳥撮影
13:00 野鳥(ノゴマなど)撮影
15:00 技術講習&海鳥トーク(海の宇宙館)
19:00 ウトウ撮影

3日目 6:00～8:00 陸からの海鳥撮影(オプション：ボート撮影)
10:25 天売島発



小型ボート「ケイマフリ号」からの撮影の様子(海況によってボートを出せないことがありますのであらかじめご了承下さい)

主催：天売島バードマンス実行委員会 (羽幌町観光協会天売支部、一般社団法人天売島おらが島活性化会議、天売観光バス、LLP守りたい生命プロジェクト)

共催：北海道新聞社、公益財団法人北海道新聞野生生物基金、羽幌町、羽幌町観光協会

機材協力：Canon・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

後援：カメラ情報誌 CAPA (学研パブリッシング)

